令和７年度９月補正

支出科目	款：総務費　　項：企画費　　目：研究開発費
担当課	研究開発課
事業名	**高速調査船整備費（単県）【新規】**

目　的

老朽化が進んでいる調査船（水産海洋技術センター所管、平成９年建造）について、新調査船を建造し海洋調査等を適切に実施することにより、県内水産物の食の安全及び県内水産業の振興を図る。

事業説明

対象者

県民及び水産事業者等

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
調査船建造	有害赤潮・貝毒等の調査、水産資源に係る調査等の海洋調査及び水産事業者への技術指導を行うための新調査船を建造する。 【主要諸元】 船質　　：FRP製 総トン数：19t 全長　　：19.5m 航行速力：25ノット（約46km/h） 【建造期間】 令和7年11月～令和9年7月 ※現行調査船の次期法定検査（令和9年10月）までに運用開始	—	(債務293,317) 108,487

成果目標

○　事業目標：海洋調査等を適切に実施することによる県内水産物の食の安全及び県内水産業の振興

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	(債務293,317 108,487	0	0	0	0	0	0	219,800 81,300	73,517) 27,187
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：総務費、教育費　　項：総務管理費、社会教育費　　目：文書費、文化財保護費
担当課	総務課、文化財課
事業名	**埋蔵文化財センター・文書館観音書庫移転整備事業（単県）**

目　的

老朽化が進んでいる埋蔵文化財センター及び文書館観音書庫の移転先として旧安芸高等学校の建物を活用するため、施設改修工事を行う。

事業説明

対象者

県民、来庁者、県職員

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
埋蔵文化財センターの移転整備	移転先である旧安芸高等学校の改修工事を実施（工事完了時期：令和８年10月予定）	9,020	（債務138,400） 92,267
文書館観音書庫の移転整備		—	（債務23,782） 15,855
合　　計		9,020	（債務162,182） 108,122

成果目標

○ 事業目標：埋蔵文化財センター・文書館観音書庫の移転整備の完了（R8目標）

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要求額	（債務162,182 108,122	0	0	0	0	0	0	142,300 94,800	19,882） 13,322
現計予算額	9,020	0	0	0	0	0	0	9,000	20

令和７年度９月補正

支出科目	款：総務費　　項：地域振興費　　目：地域振興推進費
担当課	市町行財政課
事業名	**県・市町一体型プロジェクト推進事業（単県）【新規】**

目　的

県と市町が一体となって、県外から県内市町への定着・回帰につながる実効性の高い事業を創り出していくことにより、市町の社会動態の改善につなげる。

事業説明

対象者

市町

事業内容

若者の広島への定着・回帰に向けて、県・市町の双方に、窓口担当と事業アイデアに応じた事業担当を設置して着想段階から協議を行い、県全体としての社会動態の改善に効果が見込まれる事業を実施する。
実効性の高い事業を創出するため、市町における現状把握から事業アイデア創出に至る一連の施策形成プロセスを伴走支援する。

【市町振興基金充当】　　（単位：千円）

区　分	内　容	現計予算額	要求額
県・市町一体型プロジェクトの推進	１．県・市町一体型プロジェクトの実施 ○　若者の定着・回帰に向けて、合理的根拠に基づく事業アイデア創出の議論が行われている市町において、県との協議が整ったものから事業化を図る ２．現状の把握・分析から事業アイデア創出に至る施策形成の伴走支援【R7.10～R8.9】 ○　転出入要因の把握・分析や事業の検討に課題を感じている市町に対して、 ・　市町の保有するデータの棚卸しや関係者ヒアリングを通じた、若者の転出入に影響を及ぼす市町毎の特性や転出入要因の詳細把握 ・　上記で把握した情報を基に、県・市町職員での協議を通じて課題解決の仮説を構築し、事業アイデアを創出（３市町対象）	—	(債務14,750) 29,800
合　　計		—	(債務14,750) 29,800

成果目標

○ 事業目標：若者の県内市町への定着・回帰につながる実効性の高い事業の創出・実施

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	(債務14,750 29,800	0	0	0	0	14,750 29,800	0	0	0) 0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：衛生費　　項：環境保全費　　目：自然環境対策費
担当課	自然環境課
事業名	**自然公園管理費（県民の森）（単県）**

目　的

県民の森について、令和７年度末で指定管理期間が終了することから、次期指定管理者の選定を行うために必要となる債務負担行為を設定する。

事業説明

対象者

自然公園利用者、指定管理者

事業内容

（単位：千円）

内　　容	現計予算額	要求額
【業務内容】 県民の森の管理運営 【施設】 公園センター（トイレ、簡易売店、受付・案内、事務室、全天候多目的施設（体育館）、キャンプ場、スキー場、広場、園地、歩道、駐車場　等） 【指定管理期間】 令和８～12年度	—	（債務175,650） 0

成果目標

○ 事業目標　：県民の森の持続的な運営
○ ワーク　　：98　自然環境と生物多様性の保全の実現
○ ワーク目標：自然公園等利用者数（R1実績）9,642千人　（R6実績）8,271千人　（R7目標）R1実績より増加

事業費　（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要求額	（債務175,650 0	0	0	0	0	0	0	0	175,650） 0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：民生費　　項：社会福祉費　　目：社会福祉総務費
担当課	障害者支援課
事業名	**手話言語及び情報コミュニケーション施策推進事業（単県）【新規】**

目　的

「広島県手話言語条例」及び「広島県障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例」の基本理念を踏まえ、「手話が言語であること」や「障害にも様々な特性があり、障害の特性に応じた意思疎通手段があること」について広く県民に普及啓発を行う。

事業説明

対象者

県民

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
記念イベント	○条例の制定や東京2025デフリンピックの開催に合わせて、記念イベントを開催 【開催時期】東京2025デフリンピックの開催前後（11月又は12月） 【開催場所】広島市内	—	3,000

成果目標

○ 事業目標　：手話言語及び障害特性に応じた意思疎通手段に関する県民の理解促進

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：商工費　項：商業費　目：貿易振興費
担当課	県内投資促進課
事業名	**県産日本酒生産支援事業（国庫）【新規】**

目　的

酒米仕入れ価格の高騰に直面する県内酒蔵の経営を緊急的に支援するとともに、価格転嫁や消費拡大を図るため、国際的な醸造酒の品評会の開催を通じて、県産日本酒のブランド価値を発信する。

事業説明

対象者

県内酒蔵等

事業内容

（単位：千円）

内　　容	現計予算額	要求額
【県産酒米の高騰対策】 〇酒米仕入れ価格高騰に直面する県内酒蔵の経営を緊急的に支援するため、県産酒米購入費用の一部を補助する。 ・補助対象者　：日本酒または保命酒を製造する県内酒蔵 ・補助対象経費：令和７年産酒米の購入費用 ・補助率　　：令和６年産酒米からの価格高騰額の1/2 以内	—	335,000
【消費拡大】 〇国際的な醸造酒の品評会（ＩＷＣ）を本県で開催することで、県産日本酒の魅力や付加価値（吟醸発祥の地、三大銘醸地など）を発信し、消費拡大を図る。 《開催案》 ・開催時期：令和８年５月 ・実施主体：実行委員会（県・酒造組合・市町　等） ・負担区分：県2/3、酒造組合・市町等1/3	—	27,358
合　　計	—	362,358

成果目標

〇 事業目標　：酒米価格高騰の影響を緩和することによる県産酒米の確保と酒蔵経営の安定化
　　品評会の開催による県産日本酒のブランド価値の発信

事業費　（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要求額	362,358	362,358	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（362,358千円）

令和７年度９月補正

支出科目	款：商工費　項：工鉱業費　目：工鉱業振興費
担当課	イノベーション推進チーム
事業名	**ひろしまサンドボックス事業（単県）**

目　的

新たなデジタル技術やビジネスモデルを活用し、産業や地域における課題解決に向けた実証実験を、県内外の民間企業等との共創により行い、県内への実装と横展開を目指すことを通じて、イノベーションを創出する企業や人材の集積を図る。

事業説明

対象者

県内外の企業・大学・自治体等

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
規制緩和等に向けた実証 （サキガケプロジェクト）	○新たな市場の創出に向けて、障壁となる規制対応やルールメイクに挑戦するプロジェクトの実証フィールドの環境整備	36,000	—
開発・実証モデルの実装 （ひろしまサンドボックス実装支援）	○地域課題を抱える市町とコストパフォーマンスに優れた商品・サービスを提供するスタートアップ企業等との協業を支援 【試行的導入に係る経費支援】 ・対象者　商品・サービスを提供するスタートアップ企業等 ・支援額　総額30,000千円 ・件　数　30件程度	60,000	—
AIを活用したソリューション開発支援 （ひろしまAIサンドボックス）	○県内外のプレーヤーの参画による、地域課題に対するAIを活用した新しいソリューション開発を支援 ○ソリューション開発に向けAI開発者と県内企業等とのマッチングを実施 【開発・実証に係る経費支援】 ・対　象　AIソリューション開発 ・支援額　総額200,000千円 ・補助率　1/2	225,000	（債務225,000） 40,000
ひろしまサンドボックス推進協議会の運営	○県内企業や自治体等とのネットワーキング支援など、会員向けサポートメニューの提供 ○イベントやメディアプロモーション等の実施	12,866	—
合計		333,866	（債務225,000） 40,000

成果目標

○ 事業目標　：AIソリューションアイデア・課題提案数　（R6実施分実績）266件　（R7実施分目標）280件
　　アイデア・課題とのマッチング成立件数　（R6実施分実績）251件　（R7実施分目標）270件
○ ワーク　：51 イノベーション環境の整備
○ ワーク目標　：イノベーション実現企業率　（R6実績）47%　（R7目標）45%
　　イノベーション活動実行企業率　（R6実績）58%　（R7目標）50%
　　（参考）
　　AIを活用したソリューション開発・実証の実施件数　（R7目標）20件

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	（債務225,000 40,000	0	0	0	0	0	0	0	225,000） 40,000
現計予算額	333,866	130,000	0	0	0	0	0	0	203,866

令和７年度９月補正

支出科目	款：中小企業支援資金　　項：諸支出金　目：公債費
担当課	経営革新課
事業名	**中小企業支援資金特別会計償還金（単県）【新規】**

目　的

高度化事業(※)による資金（以下「高度化資金」という。）の貸付先からの繰上償還金について、中小企業基盤整備機構へ償還する。

※ 中小企業者等が共同して経営基盤の強化を図るために、施設を整備する事業等に対し、資金及びアドバイスの両面から中小企業基盤整備機構と都道府県が一体となって支援する制度

事業説明

対象者

中小企業基盤整備機構

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
公債費	高度化資金の繰上償還に伴う中小企業基盤整備機構への元利償還金	—	713,411

成果目標

○ 事業目標　：中小企業者等の経営基盤強化の支援及び適切な償還事務の執行

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国　庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	繰越金	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	713,411	0	0	0	0	0	713,411	0	0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：農林水産業費　　項：畜産業費　　目：畜産振興費
担当課	畜産課
事業名	**飼料製造施設高度化支援事業（国庫）【新規】**

目　的

豚・鶏用飼料への利用が再開された牛肉骨粉について、「処分」から「利用」へ転換する取組を進めるため、豚・鶏の飼料原料として安全な牛肉骨粉の製造に必要な機械及び搬送機等の周辺設備の導入を支援する。

事業説明

対象者

民間事業者

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
飼料製造施設高度化支援事業	○豚・鶏の飼料原料として安全な牛肉骨粉の製造に係る機械等の導入に対する助成 【補助対象】　安全な牛肉骨粉を製造するために必要な機械及び搬送機等周辺設備 【補助率】　国1/2、実施主体1/2 【実施主体】　広島化製企業組合	―	91,954

成果目標

○ 事業目標：牛肉骨粉の製造に係る機械の導入

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	91,954	91,954	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：農林水産業費　　項：林業費　　目：森林整備費
担当課	林業課
事業名	森林経営管理推進事業＜集約化モデル実証分＞（国庫）【新規】

目　的

境界の特定が困難な森林などにおける林業経営適地の集約化を計画的に進めるため、デジタル技術を活用した境界の明確化など、効率的な手法の確立に向けた取組を支援する。

事業説明

対象者

地域協議会

事業内容

（単位：千円）

内　　容		現計予算額	要求額
集約化モデル実証	○地域協議会が行う林業経営適地の集約化に向けた取組を支援 【補助対象】 デジタル技術を活用した境界の明確化、所有者探索等 【補助率】 定額 【実施主体】 地域協議会（北広島町）	―	16,400

成果目標

○ 事業目標　：林業経営適地の集約化に向けた新たな手法の確立

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財　源　内　訳							
		国　庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	16,400	16,400	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和７年度９月補正

支出科目	款：土木費　項：空港費　目：航空対策費
担当課	空港振興課
事業名	**空港振興事業（国庫）**

目　的

空港運営権者や関係機関と連携し、広島空港の航空ネットワークの拡充や空港アクセスの利便性向上等に取り組むことにより、国内外のビジネス、観光等の交流を拡大するとともに、県民の利便性を高める。

事業説明

対象者

広島空港利用者、航空会社、アクセス事業者、グランドハンドリング事業者

事業内容

（単位：千円）

内　　容		令和６年度２月補正予算	現計予算額	要求額
エアポートセールス	○空港運営権者と連携した航空会社等へのセールス活動	—	5,483	—
国際航空ネットワーク再構築支援	○国際定期路線の新規就航等に伴う航空会社への支援 （空港業務の委託経費に係る人件費高騰分の一部） ※清州（チョンジュ）線（定期運航）の支援の追加	—	196,640	35,273
	○グランドハンドリング事業者の体制整備支援 （応援派遣の受入れに要する経費の一部）	10,947	—	—
空港アクセス利便性向上	○空港アクセスの路線拡充に向けた実証実験等に必要な経費の一部を負担 負担割合：県1/2、空港運営権者1/2	—	12,876	—
	○空港アクセスにおける訪日外国人の受入環境整備に向けて、福山路線の交通事業者のキャッシュレス決済導入経費の一部を負担 負担割合：県1/3、福山市1/3、空港運営権者1/3	—	3,334	—
広島空港振興協議会負担金	○広島空港の利用促進に係る活動を展開する協議会の活動経費の一部を負担 【広島空港振興協議会】 ア　構成団体：県、市町、空港運営権者、経済団体及び各業界団体等（全41団体） イ　主な活動：広島空港の航空需要の喚起や二次交通の利便性向上に向けた情報発信等、空港振興のための各種活動を官民一体となって展開	—	50,000	—
合計		10,947	268,333	35,273

成果目標

○ワーク　　：92　世界とつながる空港機能の強化
○ワーク目標：国際線路線数・便数
（R1実績）　５路線26便/週（R7目標）　７路線31便/週
広島空港と主要拠点を結ぶ公共交通ルート数
（R1実績）　10ルート（R7目標）　12ルート
（参考）空港運営権者の目標：国際線路線数・便数（R7目標）12路線58便/週
広島空港と主要拠点を結ぶ公共交通ルート数（R7目標）13ルート

事業費　（単位：千円）

	事　業　費	財源内訳							
		国　庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要　求　額	35,273	35,273	0	0	0	0	0	0	0
現計予算額	268,333	190,025	0	0	0	0	0	0	78,308

※国庫支出金のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（35,273千円）